港区政ニュース

発行所
東京都港区芝公園第六号地
港区役所
総務課
編集人 長田重雄
印刷人 島憲
発行人 森慶雄
電話 芝(431)2906

印刷所
港区麻布飯倉町四ノ九
ファースト印刷社
電話赤坂(583)5763

議長に稲垣氏再選
副議長に鈴木正夫氏
役員改選の臨時区議会

昭和二十八年第四回臨時港区議会が七月十六日招集され、飯倉小学校PTAから同校施設費として五万円の寄附申出の受領を承認、これを予算面に計上するため補正第三号追加予算案を議決し、つゞいて正副議長をはじめ各役員の改選を行つた。

その結果議長には現議長の稲垣幸太郎氏が再選され、副議長には鈴木正夫氏が就任することとなつた。

又区会選出の教育委員には笠原伝治氏が、監査委員には湯川竜氏が、特別区競馬組合議会議員には佐野進氏がそれ〴〵選出されたほか同日決定した各正副常任委員長並びに委員は次のとおりであつた。（◎印委員長、○印副委員長）

総務常任委員会
◎杉森増太郎○川原常太郎　佐野進　吉田岩五郎　深尾虎男　平山羊介　水野鍵三郎　前田みつ　鈴木正夫　斎藤慶雄　東田実蔵

財政常任委員会
◎鈴木清司○足立靖　佐野進　松本喜代男　宮下千春　富田貴造　水野鍵三郎　井上正彦　寺村春三郎　大倉軍平　東田実蔵

自治権拡充常任委員会
◎服部貞次郎○富田貴造　河村末松　宮下千春　高木えげる　杉森増太郎　関根実　鈴木清司　厚生常任委員会
◎前田みつ○真下義光　松本喜代男　岡謙四郎　古藤太道　久保清一　小寺為吉　笠原伝治　荻野勝司　大塚憲

経済常任委員会
◎小金勝雄○小島人　湯川竜　深尾虎男　野口松五郎　真下義光　丸山湊　大塚憲　鈴木清一郎　大倉軍平

教育常任委員会
◎井下田泰二○窪田みつ　服部貞次郎　久保清一　勝又勘作　森下文一郎　小金勝雄　丸山湊　川原常太郎　寺村春三郎　関根実

建設常任委員会
◎沓向伊太郎○森下文一郎　吉田岩五郎　小島人　湯川竜　岡謙四郎　平山羊介　山田一太郎　足立靖　井上正彦　鈴木清一郎

文化常任委員会
◎高木えげる○山田一太郎　沓向伊太郎　河村末松　古藤太道　小寺為吉　勝又勘作　野口松五郎　荻野勝司　鈴木正夫　斎藤慶雄

赤坂公会堂めでたく落成
一般使用は八月一日から

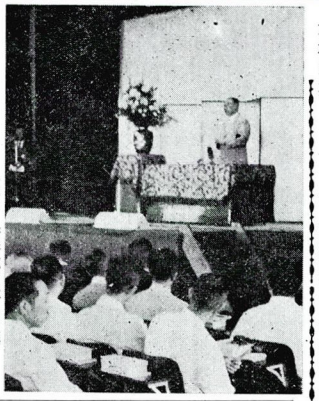


写真　安井都知事の祝辞

さきにお知らせしたように改修を急いでいた赤坂支所旧議場を公会堂に改装する工事は、六月二十五日無事竣工、内部の施設も一応整えられたので、その落成記念式が七月二十四日午前十時から、安井都知事始め多数の来賓を迎えて盛大に挙行された。これが戦災のあとも生々しかつたあの議場かしらと驚くばかりの見事な改装ぶり、黒川武雄氏を会長とする地元赤坂公会堂建設後援会の御協力によつて、定着席のシートの掛け心地もよく、総縫い刺しゆうのどん帳もはなやかに全くの小劇場風である。

式はまず場内外に響く縁起のよい打込太鼓の音に始まり、金屏風を背に長谷川赤坂支所長の経過報告、次いで中西区長の式辞があつて「麥ふみ」の二曲が上演され、五時記念式の幕をにぎやかに閉じた。

なおこの公会堂は八月一日から一般使用に供せられるが、収容人員は五百名、定着席四百、補助席百で、使用時間は午前九時から午後十時まで、五時間を一回とし、午後五時までを昼とし、昼間使用料は一回につき、一五〇〇円、夜間は二千五百円であるが、入場料や会費などを徴収する会合であれば、その場合の使用料は昼夜何れも千円増しとなつている。舞台は間口五間、奥行三間、フットライト、スポットライト、投光器、ホリゾンタルライト等が完備しており、ピアノ、映写幕もあつて、舞踊、演劇などの小公演には最適の会場と思われる。利用希望者は赤坂支所用度係（電話赤坂(431)二六八）に申し込まれたい。

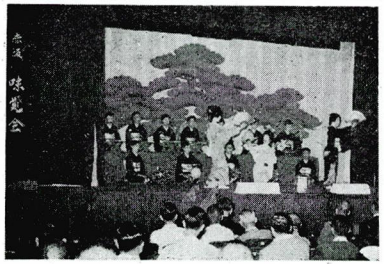


写真　芸者の連の三番手

（前面より続く）

置きに通して冷やしながら固めているという。専用鉄道によつてコンクリート、木材その他の資材を運ぶ一方、一番必要な砂利と砂は現地の山をきりくずしてここで作つているので、結局きりくずされた山がそのまゝこの谷間をふさいでダムとなるわけである。湖底となる村には、まだ三五八世帯の人々が残つているという。父祖伝来の田畑や家を水の底に沈めてこの地を去らなければならない人達の悲しみを思いつゝ再びバスに乗つて日程最後の村山貯水池へ向つた。四時山口貯水池に着いて直ちに湖上を舟で廻ることになる。

暑い日射しも、はや斜めに傾き、小波立つ水の面に浴岸の松の林は濃い影を曳いている。お伽の城のような取水塔とつり橋がくつきり浮び上つているような水の面に小さなランチは白いねりを残しつゝ快速調で湖を半周する。この村山、山口貯水池は大正十五年から昭和九年にかけて完成したもので総貯水量はあわせて三四三五万立方米、丸ビルに百三十杯の量で、都民への配水量一ヶ月分をここに貯水し、又常時、都民の需要量の二、五割を送水しているとのことである。この涼しい湖上の半周に疲れも忘れて一同大喜び、やがて四時五十分此処を出発して帰路に向う。車中の歓談も和やかにバスは一路東京へ東京へと驀進する。

朝なゝ夕なゝ使いなれている清冽な水の蔭にはこんなに大きな施設と労力とが費やされ、又あるときには悲しみさへ秘められていることを思い返しつゝ、水のとうとさを一層認識して、午後六時三十分この有意義な見学旅行の幕を閉じた。

なおこの見学に当つて乗物及び見学施設のあつ旋に村上ヒデ氏（都議、港区婦人会長）の多大の御尽力あつたことを申添えて御礼の言葉とする。

お米屋さんをかえたい方は
十五日までに出張所へ

これまで毎年二月に行われて来たお米屋さんの登録が今年から廃止になつて、その代り三月、六月、九月、十二月の年四回、次のような理由があれば、登録店を替えることができるようになりました。

現在登録しているお米屋さんに不満のある方又は、何かの事情で九月から登録店を変更したい方は、八月一日から十五日までの間に、米穀通帳と印鑑を持参して各出張所に申し出て下さい。現在登録している米屋さんから他の米屋へ登録替をすることについて同意を受けている場合は、次の理由にあたらなくても同じ手続で変更することができます。

登録替のできる理由

①米屋が廃業するという表示もしないで店を閉ざし定められた配給期間内にその配給数量の販売を五日以上も行わない場合。

②定められている配給計画に従つて米の販売を行わないため、消費者が当然受けるべき配給を五日以上も受けられない場合。

③米屋が特定の人に限つて持込配給をしてくれない場合。

④消費者が特に希望するのに米の分割売を拒否する場合。

⑤休日でなければ米の購入ができない消費者の場合で、その人の登録店は休日に店をしめるので、休日にも平常通り営業している他の店に登録を替えたい場合。

⑥配給米の貸づき加工を強制したり、不当に目減りと称して数量を差引いたり、消費者にたびたび迷惑や損失をかける場合。

⑦米の通帳を勝手に保管していて、要求しても返さないか又は通帳の記入を怠つていて、消費者には迷惑や損失をかける場合。

なはだしく不便を与える場合。

28年度日赤社員増強
資金募集実施成績

昭和二十八年度日本赤十字社社員増強資金募集運動の実施につきまして各位の絶大な御協力によつて、次のような好成績を収めて完了致しました。

ここに報告を兼ね厚く御礼申し上げます。

募集実績表

区別	目標額	募金額	%
港区内	1,[illegible],000円	1,[illegible],[illegible],[illegible]円	[illegible]
芝区	1,101,800	1,114,[illegible],[illegible]	101.3
麻布	[illegible],000	[illegible],[illegible],[illegible]	101.1
赤坂	[illegible],000	[illegible],[illegible],[illegible]	[illegible]

〔図書館だより〕
八月初旬曝書のために一週間ほど休館

夏休みに入つたので、長編の文学書や各種講座の読破を志してか、閲覧人員や館外貸出し利用者も増加しておりますが、各区立図書館とも曝書（本の虫干し）と整理のため、一週間ほど休館することになりました。

麻布図書館は八月八日から十六日までの九日間。

氷川図書館は八月六日から十二日までの一週間で、期間内は館外貸出しも停止いたしますから、利用希望者はこの期間外にお出で下さい。麻布図書館は毎日正午から五時まで、氷川図書館は九時から五時まで開館しております。

七月新入荷図書の主なものを次のようにお知らせいたします。

麻布図書館　麻布宮村町六七、南山小学校敷地内

◇嵐の中の百年　向坂逸郎
◇人生瓢々　山口晋平
◇近代経済学史　杉本栄一
◇フランス史上下モーロア
◇都市発達史研究　今井登志喜
◇刑法総論　八木胖
◇国際私法概論　実方正雄
◇三三三の名曲とレコード　服部竜太郎
◇能楽全書（能の歴史）　野上豊一郎
◇怒りの海　モンサラット

氷川図書館　赤坂氷川町四　氷川小学校敷地内

◇実験心理学提要　高木貞二
◇地方史研究必携　岩波書店
◇日本政治思想史研究　丸山真男
◇西洋法制史研究　久保正幡
◇日本の家族制度　中川善之助
◇第二の性②　ボーヴォアール
◇アチーブメントテスト　五千題　文英堂
◇数学の歴史　近藤洋逸
◇音楽概論　諸井三郎
◇演劇入門　岸田国士
◇私の花物語　宮井栄　丹羽文雄
◇濃霧の人　岡崎俊夫

緑の木陰の樂しいひとゝき
緑陰子供会多彩の催し

子供達が待ちこがれていた夏が来た。海へ！山へ！と子供達の夢はとんでいる。然し行楽地へ行かれない子の数はどんなに多いことだろう。港区教育委員会及び港区役所では、区内小中学生のために、海と山との夏季学園を開いて、楽しい夏休みの想い出を作っている。一方、暑い都会に残る子供達や、学令前の幼児のために楽しい緑陰子供会の数々の催しをして、余暇の善導とレクリエーションのひとゝきを与えることに努めている。これらの催しは港区青少年問題協議会、各青年婦人団体、PTA、青少年委員並びに児童委員、それに各校先生方や警察少年係の方々の緊密な連絡と御協力によって七月二十五日から八月三十一日までの間、区内全域にわたって展開されているが、八月十五日までに開催される催しの主なものを次に御紹介してみよう。

巡回少年紙芝居映画会

日時　場所

8月3日〜7日　青葉公園

〃　4日　網代公園

〃　5日　猿町児童遊園

〃　6日　芝浦小学校庭

〃　7日　亀塚児童遊園

〃　8日　南桜小学校庭

上映種目、毎日ニュース、松竹映画「鳩」同「娘の晴着」

お楽しみ子供地区大会

日時　場所

7月29日前10時　芝公会堂

〃　30日　赤羽小学校

〃　31日　白金小学校

内容　ゲーム指導、歌の練習、童話、三つの歌、幻灯その他

少年野球大会

予選　八月一日〜二十日

大会　八月二十四日〜二十六日

小学校六年以下の豆選手でチーム編成、区内各警察地区単位に予選を行い、代表チームを決定の上、大会にのぞむ。

巡回絵陰子供の集い日程

（八月一日〜十五日までの分）

日　一　九時の会場　十一時の会場　一　后二時の会場

1日　海岸通遊園　／　／
　　弁児童遊園　／　／
3日　金比羅神社　／　／
　　本村遊園　／　／
4日　三田松坂遊園　／　／
　　飯倉片町遊園　／　／
5日　三田四国町北遊園　／　／
　　乃木公園　／　／
　　青葉公園　／　／
6日　梅窓院遊園　／　／
　　南桜公園　／　／
7日　氷川神社　／　／

日　一　九時の会場　十一時の会場　一　后二時の会場

8日　高浜町広場　／　／
　　天祖神社　／　／
10日　金杉橋遊園　／　／
　　桜田神社　／　／
11日　三田松坂遊園　／　／
　　一の橋公園　／　／
12日　雷神山遊園　／　／
　　網代公園　／　／
13日　三田四国北遊園　／　／
　　本村遊園　／　／
14日　高松遊園　／　／
　　飯倉片町遊園　／　／
15日　東久邇氏住宅跡　／　／

早起少年野球教室

八月三日〜五日毎朝六時芝公園少年グランド、麻布赤坂運動場で、港区野球連盟役員が指導する。

少年はぜ釣大会

八月九日、第三お台場で港区釣風連合会役員指導の下に実施、十二才〜十才までの男子に限る。

巡回子供の集い

昨年と同様に都立高等保母学院の生徒に委嘱、別表のように毎日六回、区内の小公園、児童遊園等を巡回して開催、ゲーム歌の指導、人形芝居などを行っている。

このほか例年のように写生大会、昆虫採集の会、水泳大会、ボート大会、少年バレー、卓球大会なども予定されている。

巡回子供文庫、紙芝居並びに幻灯機、スライド等の無料貸出しも行われている。

芝公会堂の使用料
八月一日から改正

昨年四月開場以来、講演会や映画会は申すに及ばず研修会や各種総会、入学試験場その他種々の会合に殆ど連日連夜、使用されている芝公会堂は、さきごろ改修工事を行って舞台をずっと広くしたので、ます〳〵使いよくなったと好評をうけているが、施設の維持修繕等の費用も値上りの一方なので八月一日から左記のとおり使用料の一部値上げをすることとなった。

利用希望者は財政課企画係（電話芝㈱五八四四）に申し込まれたい。

芝公会堂使用料

入場料会費等を徴収しない場合

昼間　一回千五百円を二千円に

夜間　一回二千五百円を三千円に

入場料会費等を徴収する場合

昼間　一回　三千円

夜間　一回　四千円

ふえる樂しい子供の遊び場
豊岡町児童遊園開設

自動車の交通量がふえるにつれて、小さい子供を持つたお母さん方の苦労は大きくなって行く。子供は外で遊びたいのだけれど仕事に追われているお母さんはそばについているわけにはいかない。家で遊ぶわけにはいかないと思つていた子供が何時の間にか表に飛び出し、車の間を縫ってかけまわっているのに肝を冷やしたお母さんはずいぶん多いと思う。安心して遊ばせるお母さんが近所にほしいという地元区民の要望にこたえて、区では区内の盛り場附近に、ブランコやすべり台、砂場などを設けた小公園や児童遊園を開設して、学令前の幼児の遊場を用意している。番地今度、三田豊岡町十三番地に、又一つ児童遊園がふえることになった。場所は同潤会アパート並びの空地七八坪余りで、木柵でかこみ、砂場、ブランコ、すべり台がとりつけられることになっている。工費は九万九千八百円、東京造園士木建設会社の施工で、七月十二日に開設された。

これで区内の児童遊園は合計二十七ケ所、小公園は十一ケ所となった。

みんなの遊場をきれいにしましょう

区では近く経費十万円をもつてこの二十七ケ所の児童遊園全部に、大きな金網のくづかごをとりつけます。おせんべの袋やキャラメルの空箱など、ちらかしたものはまとめてくずかごへ始末するように小さい時からよい習慣をつけましょう。お父さん、お母さん、お兄さん、お姉さん、小さい人たち。良く教えてあげて下さい。

婦人団体連絡協議会
水道施設を見学

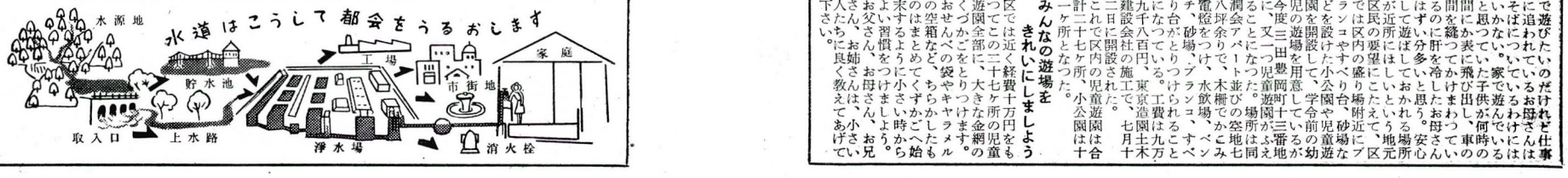
港区教育委員会では、かねて区内婦人団体連絡協議会から要望のあった、東京都の水道施設の見学を実施することになり、各代表者三十四名を七月十三日に淀橋浄水場、多摩川羽村取入口小河内ダム建設工事現場、村山、山口貯水池等の一日見学に招待して、水源地から、水道の蛇口までの水の旅をつぶさに見て頂くことになった。当日は朝八時三十分、一行を乗せる大型バスは区役所前を出発し、第一のコース新宿駅西口の淀橋浄水場へ向う。

都民の水使用量は一日平均百三十万立方米（丸ビルを升として四・七杯）だが、夏季は一日に百七十万立方米以上にのぼるそうである。この水源は大部分が多摩川でそのほか江戸川及び地下水も取入れられて淀橋、境、金町等十二の浄水場で濾過され、殺菌されて各家庭に送水されている。この水は川から直接取入れられるほか村山、山口両貯水池に約一ケ月分の給水量をためて、水がれの時に備えているが、これらの施設による配水能力は現在のところ一日平均百二十万立方米で、毎日無理なく給水をしているわけで、特に夏季にはどうしても足りなくなってしまう。又年々四十万人ずつ増加する人口に対し、その需要には到底追つけないので、昭和三十年の完成を目指し、現在小河内ダムの建設や、相模川分水工事その他施設の拡張工事を着々と実施している。さて淀橋浄水場は、新宿駅西口広場に面し、面積十万三千坪明治二十六年起工、同四十四年に完成したもので、一千坪の濾過池を二四ケ、八三トンの容量を持つ沈澱池を四ケ、塩素滅菌設備三ケ所配水ポンプ十台をもつて都心の各区に送水している。多摩川上流羽村の取入口から玉川上水によつて送られてくる水は、村山貯水池の水と合流して、この浄水場に入り、沈澱池で土や砂を落してから濾過池に流れて行く。濾過池の砂層を通った水はもう全く澄み切っているが、これに塩素を一万分の一・五の割で注入し、完全に滅菌してから各家庭にポンプで送水しているのである。満々と水をたえたプールが見渡す限り連なっている静かな涼し気な光景の中に、空の爐過池の底の砂替えに、四五十人の人夫がせっせと働いている。真夏のはげしい日光をうけて重たい砂をシャベルでかき上げてトロッコで運び出している。

この工事は昭和十七年起工、同四十年に完成したものであるが、この作業は絶え間がない。この炎天下汗と砂にまみれて働いている人達のお蔭で私達は安心して水が飲めるわけである。九時半ここを出発して、西に約十里、一時間半ばかりで多摩川、羽村の取入口に着く。ここは今から三百年前、徳川時代初期に作られた玉川上水の起点であつて、折からの増水期で白く濁った多摩川の水が九つの水門から滔々としぶきをあげて上水路に流れ込んでいる。ここから都心まで四十七キロ、徳川氏の江戸都市計画事業の一つとしてなしとげられた、この上水工事の蔭には工事主任であつたため、自分の私財を投じ、しかも水路を開くために生命をもなげた玉川兄弟の悲願物語がある。巾は六米から十四米、狭い水路ながら三百年なく流れて行く。更にここから西に十里、鳩の巣を過ぎ、氷川を過ぎ、十二時五十分やつと小河内ダム建設事務所のある水根に着いた昼食をとり、所長から図面や模型などを例に、ダム建設事業の経過や完成後の構想などを伺つてから現場に向う。前にも記したように現在の給水能力の不足を補い、原水の常時確保を目標として始められたこの工事は、西多摩郡小河内村の東端に多摩川を横断する高いコンクリートダムを築造して、小河内、丹波山、小菅の三ケ村にまたがる面積二六二、八八平方粁の大貯水池を設け、増水期に多摩川の流水をここにためておいて、水枯れの時に放水し、新設する浄水場に導いて都民の需要量を満たそうという一四一米、周囲約九里、貯水量一億八千四百万立方米（丸ビルを升にして七百杯）の東洋一を誇る大貯水池が出現し、一日の給水量を四三万立方米も増加することができるそうだ。又このダムによって得られる落差と水量を利用して、六七、五九二キロワットの水力電気を起すことができるとのことこの工事は昭和七年に東京市会で議決され、昭和十四年起工されたが、戦争のため十八年に一時中止となり二十三年九月再び着手されて現在に到つており、昭和三十年度にはダムを始め、貯水池に附帯する道路、鉄道、発電所、浄水場その他一切の事業を完成する予定になっている。

ダムの高さは一四九米、頂の長さ三四五米、基底の巾は一三〇米、四段に取水管を通して水流を調節し、七つの水門を持つ余水吐も右手の山をくずして作られることになっている。これが完成すれば増水期の多摩川下流の大水も、水枯れ時の田畑の灌漑用水も自由に調節できるとのこと。給水量の増加に、発電に、流水量の調節にと、このダムの果す役割の大きさに驚嘆して、工事現場へ着くと、深緑の山間が両側から迫る尾根で一段と狭くなっているあたり、空になった多摩の川床に、工事小屋が数多く立ならび大小の起重機や、太い鉄のパイプ、二条のケーブルも架っていて、沢山の資材が忙しくあちこちと運ばれて行く、勇ましいモーターのうなり、滑車のきしる音、鉄材のカン〳〵いう響に交って、砂利を洗っているゴウ〳〵という水音この小さな谷間一杯に壮観な活気が満ち〳〵している。照りつける真夏の太陽の下くまし、建設の響きは熱気となって燃え上るようだ一番下の基盤になるコンクリートが流しこまれて固まっている。

コンクリートの凝縮熱をできる丈少くするため、砕氷を入れてこれを練り、冷水を通した鉄のパイプを一間



（裏面へ続く）